

第5回 穂高広域施設組合 新ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会
会議概要

1	委員会名	第5回 穂高広域施設組合 新ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会
2	日 時	平成29年11月1日(水) 13:30~
3	会 場	穂高クリーンセンターし尿処理施設2階会議室
4	出席者	堀尾委員長、小林副委員長、高村委員、野本委員、村上委員
5	事務局	小林事務局長、白澤次長、久田次長、細川庶務係長、佐々木係長、浅川係長、大塚主査
		(安曇野市) 白澤課長 (一般財団法人 日本環境衛生センター) 藤原、岡田、川緑、河合
6	公開・非公開の別	非公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年11月8日
協議事項等		
1	会議の概要	(1) 開会 (2) 委員長挨拶 (3) 資料確認 (4) 議事 1) 審査講評(案)について 2) その他 (5) 閉会

2 協議概要

(1) 開会

(2) 委員長挨拶

(3) 資料確認

事務局から、会議資料の確認を行った。また、事業者選定委員会が成立していることの確認を行った。

(4) 議事

1) 審査講評（案）について

事務局から、審査講評（案）の内容について説明した。欠席している平林委員と藤澤委員からは審査講評の内容に対する指摘事項はなかったと報告した。

委員長・委員の皆様から意見をいただきたい。

委員・・・8ページ「3. 選定委員会の開催及び審議」の平成29年10月4日の項目で、「落札者」を「落札候補者」に変更すべき。また、4ページの「落札候補者」は「落札者」に変更すべきでは。12ページの評価の部分で、「高く評価された」、「評価された」、「一定の評価をされた」と使い分けられているが、2グループの点数の差が0.7点で「評価された」、0.3点で「高く評価された」となっている。統一性を持たせたほうがよいのではないか。

委員・・・わさびグループ、けやきグループどちらかだけの評価を記載している部分があるが、各グループの点差による書き方のルールがないように思える。何点離れたらこうする、というような一定の基準があったほうがよい。

委員・・・総評の内容で、両グループとも点数が僅差であったことを盛り込みたい。

委員長・・・一部、小さな修正を行いたい。10ページの「資格審査を通過した応募者から、提出された技術提案書を以下の通り審査を実施した。」の文章は、「技術提案書の審査を実施した。」としたい。また、総評の希望事項の3つ目で「地元雇用者を通じて」が誤解を招くのではないか。「地元雇用等を通じて」とすれば、お祭りなども含まれ良いと思う。最後に、下から3行目で「意欲的に行うよう配慮すること。」となっているが、これでは次の文章の「希望します」とつながらないので、「意欲的に行うように配慮し、」とする。

委員・希望事項の3項目について、「地元雇用等」があって、最後にも「地元雇用」が出てくる。また、「付加的地域貢献」と「地域貢献」があり、分かりにくいのではないか。

委員長・その点については事務局で一考願う。続いて、表4について議論する。私が事務局から受けた説明では、まず両グループともに提案があった点について記載し、次に、良い点を得た1グループの評価を記載している、とのことだった。もしかすると、両方で点差があるのに両グループの記載のみで終わっていることがあるかもしれないので、そこを議論したい。また、「高く評価」、「評価」、「一定の評価」の使い分けについて説明を願いたい。

事務局・1つ目の質問に対して回答する。この評価は、各委員から頂いた意見を踏まえている。評価項目でどちらかのグループの点数がよかった場合には1グループの評価を記載している。特筆すべき点がなかった場合、また両グループで同様のレベルの提案内容だった場合は、両グループとも記載している。2つ目の「評価された」、「一定の評価をされた」、「高く評価された」については、配点に対する割合で使い分けており、7割5分近い点数を取ると5段階評価のBに当たるため「高く評価された」という記載をしている。5割から7割程度までだと「一定の評価を得た」、半分程度だった場合は「評価された」という使い分けをしている。

委員長・「評価された」は「一定の評価をされた」よりも低い評価なのか。

事務局・ご理解のとおり。

委員長・それはわかりにくいかもしれない。

委員長・「一定の評価をされた」と「評価された」は分ける必要があるのか。

委員・「一定」はなかなか難しい。

委員長・「一定の評価をされた」は削除し、「評価された」とする。

委員・「④SPCの収支計画の安定性、SPCのキャッシュフロー計画」と「③省エネルギー化対策、焼却灰排出量、飛灰排出量の低減対策」についての説明も見直したほうがよいだろう。

事務局・応募グループの知的財産にかかわる部分なので、具体的な記載は事務局で一考し、各委員に案を示したい。

- 委員長・総評では、第1, 2段落をうまくまとめ、僅差でわさびグループが最高点になったという表現を入れる。
- 委員・第1段落の「要求水準を十分に上回るものであり、」後ろに僅差であったという記載をするのはどうか。
- 委員長・第2段落は削除してはどうか。
- 日環・そのように修正する。
- 委員・地元雇用についてはどのように修正するか。
- 委員・付加的な地域貢献が分かりにくい気がする。また、地域貢献のことはすべて希望事項の最後にまとめたほうがよいのでは。
- 委員・安全について記載するのはどうか。
- 委員長・私としては、希望事項は、建設時の安全について、高効率ごみ発電、売電電力量の最大化、見学者対応、地元貢献の順にすると流れが良いと考える。
- 委員長・もう一度確認する。4ページの図1、下から2番目の「候補」を削除する。8ページの10月4日の項目は「落札候補者の決定」とする。10ページの2行目の文章を修正する。12ページの②の施設の運転計画で「高く評価された」の「高く」を削除する。12, 13ページにわたり「一定の」を削除する。
- 委員・「評価を得た」と「評価された」を統一したほうがよい。
- 委員長・「評価された」とする。総評については第2段落を削除する。
- 委員長・希望事項については、1番上に安全や環境について触れた施設建設に関する文章を入れる。次に高効率ごみ発電、その次は設備面のみならず運営面、そして見学者対応、地元貢献について。希望事項の3項目の記載は削除する。それから、下3行目の「配慮すること。また」を「配慮し、」とする。
- 委員・建築からみるとサイズはコンパクトで周囲との調和、近隣施設との関係を考えていることが感じられた。
- 委員長・講評についての議論は以上とする。

2) その他

今後、事務局にて、審査講評（案）の指摘事項について修正を行い、最終的に委員長の了承を得る。審査講評の公表は11月中旬ごろの予定である。第4回、第5回選定委員会の議事録については、事務局にて精査の上、各委員へメールにて送付する。

(5) 閉会

以上